

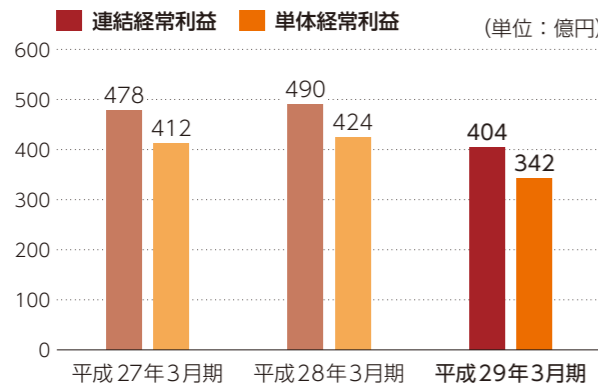
業績ハイライト

●主要な経営指標の推移

1. 連結決算 (単位: 億円)

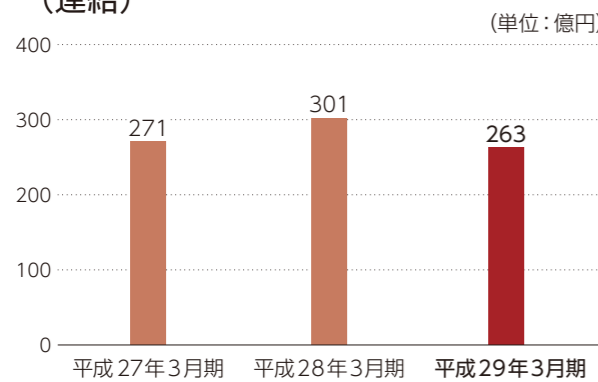
	平成28年3月期	平成29年3月期	前期比
連結経常収益	1,812	2,091	+279
連結経常利益	490	404	△86
親会社株主に帰属する当期純利益	301	263	△38

●経常利益の状況



実質業務純益の減少のほか、貸倒引当金戻入益の減少などにより、単体経常利益は前期比82億円減少しました。

●親会社株主に帰属する当期純利益の状況 (連結)

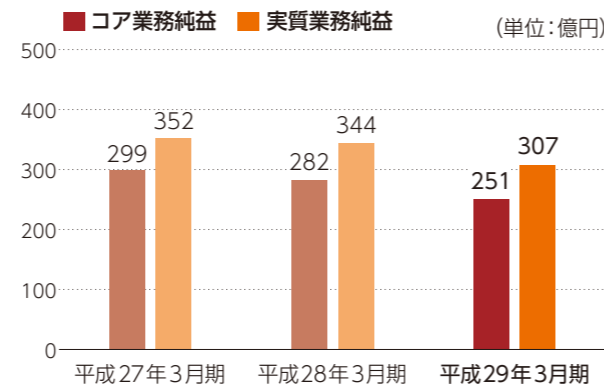


当期純利益(単体)の減益などにより、前期比38億円減少し、263億円となりました。

2. 単体決算 (単位: 億円)

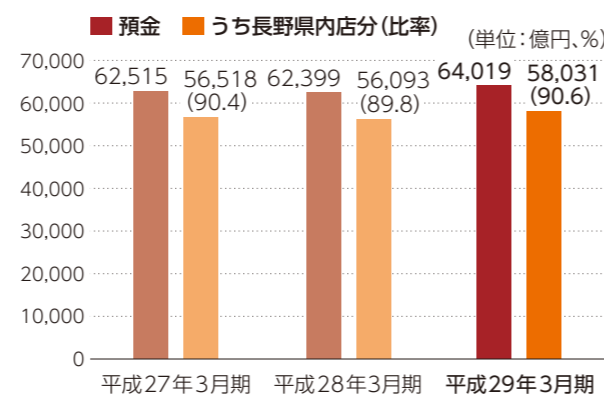
	平成28年3月期	平成29年3月期	前期比
経常収益	1,416	1,695	+279
業務純益	344	307	△37
経常利益	424	342	△82
当期純利益	277	231	△45

●コア業務純益・実質業務純益の状況



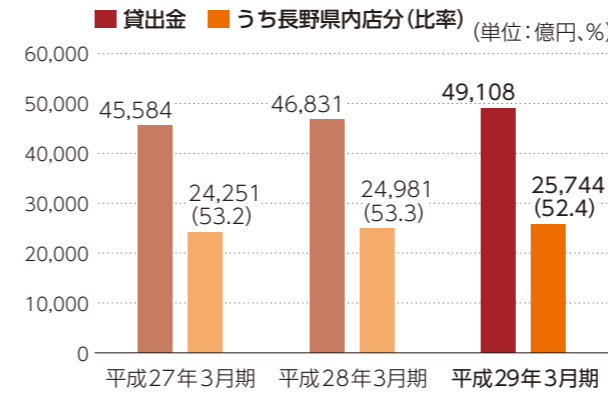
利回り低下による貸出金利息の減少などにより、コア業務純益は前期比30億円、実質業務純益は同37億円減少しました。

●預金の状況



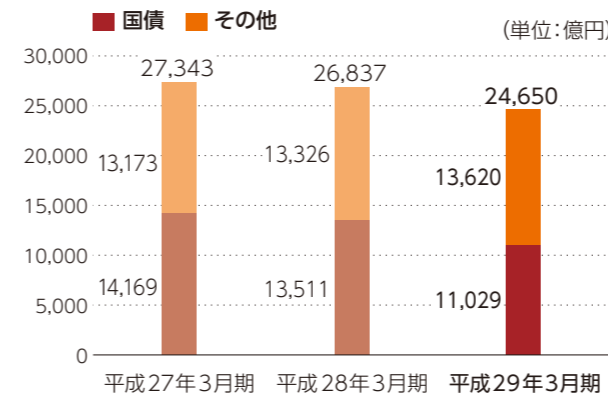
公金預金は減少したものの、個人・法人預金が増加したことから、前期比1,619億円増加し、6兆4,019億円となりました。

●貸出金の状況



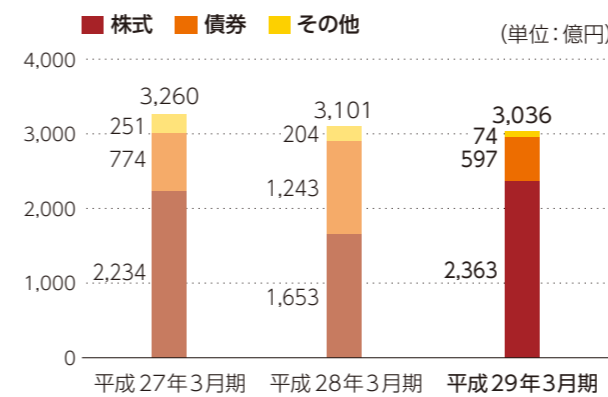
消費性、事業性、地方公共団体向け資金がいずれも増加したことから、前期比2,277億円増加し、4兆9,108億円となりました。

●有価証券残高の状況



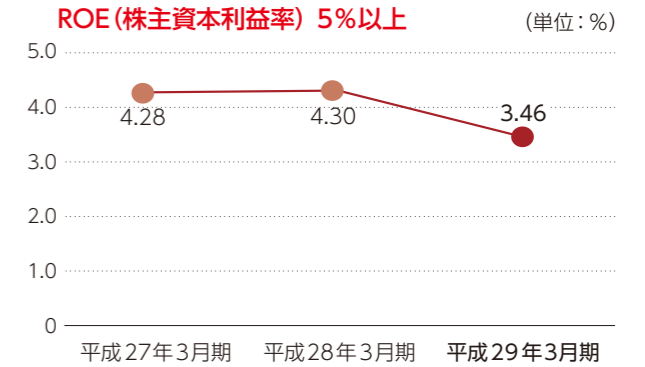
国債を含む債券及び外国証券の売却による減少などにより、前期比2,186億円減少し、2兆4,650億円となりました。

●有価証券評価損益の状況

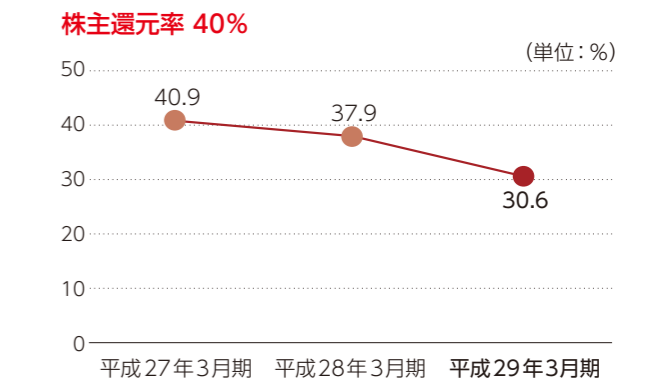
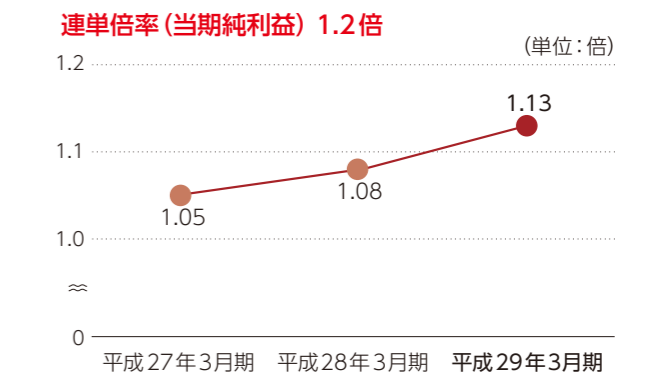
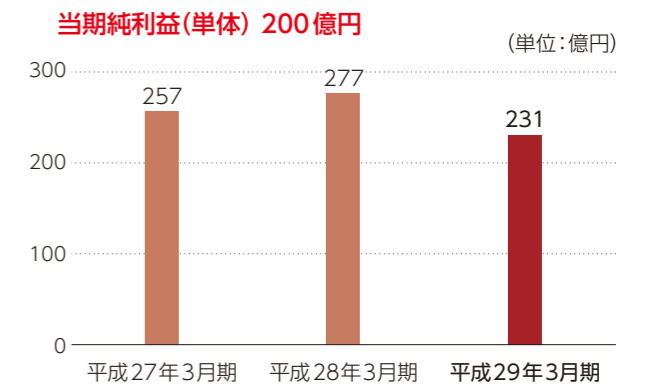


株式相場は上昇したものの、債券を売却したことなどにより、前期比65億円減少し、3,036億円となりました。

●長期的経営指標



●目標とする経営指標(平成30年3月)



用語解説
コア業務純益
 国債等債券損益を控除した業務粗利益から経費を差し引いたものです。一時的な要因に左右されない銀行本来業務の収益です。
実質業務純益
 業務粗利益から経費を差し引いたものです。
ROE(株主資本利益率)
 企業の収益性を測る指標 当期純利益/自己資本(期首・期末平均)

連単倍率
 親会社の単独決算の利益に対する連結決算の利益の割合
 親会社株主に帰属する当期純利益/当期純利益(単体)
株主還元率
 事業活動によって得た利益を、配当などの形でどれくらい株主に還元しているかを示す指標
 (年間配当額+自己株式取得総額)/当期純利益